

2022年4月1日～2023年3月31日の間に岡山大学病院 薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生の方へ —「薬学実務実習における超急性期病棟実習の改善」へご協力をお願い—

研究機関名	岡山大学病院		
研究機関長	前田 嘉信		
研究責任者	岡山大学病院 薬剤部 教授	座間味 義人	
研究分担者	岡山大学病院 薬剤部 講師	濱野 裕章	
	岡山大学病院 薬剤部 外来薬剤業務管理主任	猪田 宏美	
	岡山大学病院 薬剤部 薬剤師	大川 恭昌	

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

文部科学省より策定されている薬学教育モデル・コアカリキュラムには「急性期医療（救急医療・集中治療・外傷治療等）や周術期医療における適切な薬学的管理について説明できる」という項目があり、岡山大学病院でも2014年度より薬学実務実習において超急性期病棟での実習を開始しています。超急性期病棟における重症患者の疾患や身体所見、治療内容は様々ですが、現在の薬学教育モデル・コアカリキュラムには超急性期病棟における適切な薬学的管理に関する指導内容について明確に記載されておらず、実習内容はそれぞれの医療機関によって異なるのが現状です。

そこで本研究ではこれまでに薬学実務実習において超急性期病棟実習で行ったアンケート調査の解析を行うことで、具体的な実習プログラムの作成に寄与することを目的とします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究の遂行により、超急性期病棟実習における具体的な実習プログラムの作成に寄与することで、一貫した指導ができるようになり薬学実務実習の改善に貢献できると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022年4月1日～2023年3月31日の間に岡山大学病院薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生の方、21名を研究対象とします。

2) 研究期間

研究機関の長の許可日～2024年12月31日

3) 研究方法

2022年4月1日～2023年3月31日の間に、岡山大学病院薬剤部において実務実習を行った薬学実務実習生の方に対して行ったアンケート調査のデータを使用し、顧客満足度分析などを用いて超急性期病棟実習の満足度を調査します。

4) 使用する情報

実習前に行うアンケートの問い

病棟見学に関する以下項目の【理解度】について

- ・病棟の構造の特徴
- ・入室する患者の特徴
- ・内服薬投与時の注意点
- ・注射薬投与時の注意点
- ・一般病棟との相違点
- ・薬剤師業務の全般
- ・常備薬、管理薬品の管理方法
- ・処方監査における注意点
- ・患者ベッドサイドにおける情報収集
- ・転棟時の情報提供や注意点
- ・カンファレンスへ参加する意義
- ・多職種連携
- ・他科との連携
- ・救急外来における初療
- ・災害対応
- ・CHDF
- ・PCA ラウンド
- ・常備麻薬の管理方法
- ・新生児における薬物治療の用法・用量
- ・新生児の検査値の基準値
- ・TPN の無菌調製
- ・光線療法

実習前・後に行うアンケートの問い

講義に関する以下項目の【理解度】について

- ・オリエンテーション
- ・臓器系統別評価
- ・中毒治療
- ・TDM

講義に関する以下項目の【満足度】について

- ・講義の所要時間
- ・講義のスライド内容
- ・講義の説明の分かりやすさ

病棟見学に関する以下項目の【理解度】について

- ・病棟の構造の特徴
- ・入室する患者の特徴
- ・内服薬投与時の注意点
- ・注射薬投与時の注意点
- ・一般病棟との相違点
- ・薬剤師業務の全般
- ・常備薬、管理薬品の管理方法
- ・処方監査における注意点
- ・患者ベッドサイドにおける情報収集
- ・転棟時の情報提供や注意点

- ・カンファレンスへ参加する意義
- ・多職種連携
- ・他科との連携
- ・救急外来における初療
- ・災害対応
- ・CHDF
- ・PCA ラウンド
- ・常備麻薬の管理方法
- ・新生児における薬物治療の用法・用量
- ・新生児の検査値の基準値
- ・TPN の無菌調製
- ・光線療法

病棟見学に関する以下項目の【満足度】について

- ・病棟見学の時間
- ・病棟見学の内容
- ・病棟見学の説明の分かりやすさ

担当症例に関する以下項目の【理解度】について

- ・情報収集の方法
- ・病態
- ・薬物治療
- ・薬剤師による呼吸管理
- ・薬剤師による循環管理
- ・薬剤師による神経管理
- ・薬剤師による感染管理
- ・薬剤師による栄養管理
- ・薬剤師による腎臓管理
- ・薬剤師による肝臓管理
- ・薬剤師による血液凝固管理
- ・薬剤師によるストレス潰瘍予防管理

担当症例に関する以下項目の【満足度】について

- ・担当症例の内容
- ・情報収集の時間
- ・指導薬剤師からの説明

症例報告会に関する以下項目の【理解度】について

- ・質問に対する回答
- ・自分以外の発表内容

症例報告会に関する以下項目の【満足度】について

- ・資料の作成
- ・発表形式
- ・発表時間

重症系病棟実習の全体に関する以下項目の【満足度】について

- ・全体の時間
- ・全体の内容
- ・自分の積極性
- ・指導薬剤師からの説明
- ・指導薬剤師によるポートフォリオへのコメント

重症系病棟実習の全体を通しての【総合満足度】について
薬学部の臨床医薬品治療学「敗血症」の講義について
重症患者に対する薬物療法の実施における薬剤師の支援の必要性について
集中治療における薬剤師の業務をさらに学びたいと思うかについて
実習を通して印象に残ったことについて

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院薬剤部試験研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて研究対象者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 薬剤部

氏名：大川 恭昌

(E-mail：pfwy9q3b@okayama-u.ac.jp)

(平日昼間) 電話：086-235-7654 8時30分～17時

(平日夜間) 電話：086-235-7654 17時～翌8時30分

(祝祭日) 電話：086-235-7654 8時30分～翌8時30分